

平成 28 年度学校評価設定報告書

平成 28 年度学校目標	取 組 の 内 容	
	具 体 的 な 手 立 て	評 価 の 観 点
<p>(1)幅広い興味・関心に対応できる教育課程の編成と個に応じたきめ細かい学習支援の体制づくりを進める。</p> <p>(2)放課後を使った日常的な学習指導や長期休業中の補習・講習の体制を整備する。</p> <p>(3)授業マナーの指導を通して生徒の学習意欲の向上・学習態度の改善を図るとともに、言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育む取組みを充実させる。</p> <p>(4)校外機関や中学校との協力を得て、生徒・教員双方向発信型の授業研究実践を行う。</p>	<p>①学校及び各教科で定めた「育てたい生徒像」を反映した教育課程に基づいた学習支援を着実にを行う。</p> <p>②放課後・長期休業中などを利用して、講習・補習の充実を図り、学力の定着を図る。</p> <p>③生徒に身に付けさせたい力を明確にした、全科目統一書式に基づく年間学習指導計画を作成する。</p> <p>④「思考力を伸ばすための授業実践集」・「逆さま歴史教育」に基づいた授業づくりを行い、学習成果発表会を設定する。</p> <p>⑤知識技能を身につけさせたい授業においても、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れる。</p>	<p>①「育てたい生徒像」に生徒が近づき、また生徒のニーズや進路希望に沿った学習支援ができたか。</p> <p>②長期休業中の講習・補習の講座数や参加生徒数が増えたか。</p> <p>③生徒に身に付けさせたい力を明確にした単元指導計画や年間学習指導計画を作成できたか。</p> <p>④基礎的な知識技能の定着とともに思考力・判断力・表現力が高まっているか。</p> <p>⑤生徒による授業評価の項目における「かなり当てはまる」の回答率が増えたか。</p>
<p>(1)様々な場面で地域社会の一員としての規範意識を育む。</p> <p>(2)校内の教育相談体制を充実させるとともに、外部機関との連携を図り個に応じた支援体制を整備する。</p>	<p>(1)①「挨拶」「アイコンタクト」「リスペクト」を推進する。</p> <p>②服装・頭髪・遅刻・授業規律について、年間を通して担任、学年、グループと段階を追って指導を行う。</p> <p>③日常的に駐輪指導、校内巡回指導を行う。</p> <p>④定期的に自転車点検、自転車乗車マナー指導、登下校指導を行う。</p> <p>(2)①養護教諭とスクールカウンセラーを中心とした教育相談体制を整備する。</p>	<p>(1)①～④の取り組みにより、地域社会の一員としての規範意識を育むことができたか（指導件数、近隣住民からの苦情件数、担当教員による評価）。</p> <p>(2)①の取り組みにより、校内教育相談体制の整備が進んだか（担当教員による評価）。</p>
<p>(1)（1年）学習に意欲的に取り組み、基礎学力・基礎体力をつけるとともに、興味・関心や適性を知り、職業を見据えた卒業後の進路を考える。</p> <p>(2)（2年）自分の興味・関心を持った事柄に積極的に挑戦し、将来を見据えた進路先を決め、実現のための方策を考える。</p> <p>(3)（3年）自分の課題を発見・克服し、自己実現を目指す。</p>	<p>①（1年）進路講演会やガイダンスをとおして、自分が就きたい職業を考え、それに至るまでに必要な学習方法を知り、進路の方向性を固める。</p> <p>②（2年）オープンキャンパス参加や分野別進路ガイダンスをとおして、具体的に就きたい職業やそれを実現するために必要な進学先を決定する。</p> <p>③（3年）安易な方向に流されることなく、受験方法等を明確にして、第1希望の自己実現を目指す。</p>	<p>①進路意識が充実し、それに伴う行動ができるとともに、自己実現ができたか。（進路希望と実績の比較、オープンキャンパスや1日体験等への参加人数、ワークシート記述分析）</p> <p>②自分の適性を知り、情報収集をとおして必要な知識の定着や能力の育成、将来の目標が明確になったか。（ワークシート・振り返りシート記述分析）</p> <p>③受験に対応できる基礎学力、基本的な学習習慣が定着したか。また、意欲的に発展的学習に取り組めたか。（講習や模試の参加人数等）</p>
<p>(1)学校周辺の清掃等で、地域周辺の清掃活動や環境の保全に協力をする。</p> <p>(2)地域・分教室と連携した学校行事（特に文化祭）に様々な分野での参加や協力を求め、地域行事への積極的な参加をする。</p> <p>(3)授業や部活動において、近隣小・中学校との交流を図る。</p>	<p>①年2回の地域清掃活動と上和田中学校との連携で実施する登校清掃活動を継続的に実施する。</p> <p>②地域に伝わる伝統文化（凧あげ）の行事に本校生徒が参加し、文化祭でも凧の展示発表の場を設け、生徒や一般の方々と共同で作成する。</p> <p>③学校外へのボランティアやインターシップの参加を増やす。また、部活動レベルで福祉施設や近隣小中学校への訪問の機会も増やし、高校への招待なども検討する。</p>	<p>①地域と合同した清掃活動・環境保全活動が行うことができたか。（担当教員による評価）</p> <p>②地域の行事に本校生徒が参加し、文化祭でも、生徒と一般の方々と地域交流をすることができたか。</p> <p>③学校外へのボランティア、インターシップの参加生徒が増え、地域への参加が大幅に高まったか。高校への招待などが盛んに行われたか。</p>
<p>(1)①職員研修において、D I G（図上訓練）を実施し、来年度総合的な学習の時間やL H Rで実施できるように準備する。</p> <p>②ゴミ箱等を含め清掃用具を計画的に刷新し、分別する意識が持てる環境整備をする。</p>	<p>①職員研修におけるD I G（図上訓練）の実施と来年度の年間計画への導入を検討する。</p> <p>②ゴミ箱の刷新と配置。</p>	<p>①職員研修を実施し、防災計画の刷新が行われたか。（担当教員による評価）</p> <p>②の取組により、生徒の美化意識・緑化意識が高まったか。（担当教員による評価）</p>